

新ましこ未来計画外部検証委員会(経営体)議事録

日時	平成 28 年 11 月 1 日(火) 18:00~19:45	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	安藤委員、海老澤委員、和久委員
	職員	萩庭総務部長、加藤総務課長、日下田企画課長、櫻井税務課長、小堀健康福祉課長、富賀瀬高齢者支援課長、和久介護保険係長
	事務局	吉永、岩崎
配布資料	新未来計画説明資料、評価指標(H27年度。※P.5 エネルギー需給率 47.1 は策定時と算出方法が異なる。健康志向全国順位は富士通 HP からだが、データが更新されず 1 年前と同じ。黒い網掛けは町民アンケートに基づく数字)	

発言者	発言要旨
事務局	1. 委員・職員自己紹介 2. 本会議および外部検証スケジュール・配布資料確認
総務部長	3. 経営体概要説明 早急に健全化に取り組まなければならない状況ではないが、少子化等で健全さが脅かされ現在と同じような行財政運営は難しくなると考えられる。また、自治会加入率の低下など人間関係の希薄化、社会との関わり方の問題もあり協働のまちづくりをさらに推進する必要がある。評価方法は KPI を施策ごとに設けて検証する。 (新未来計画推進シート及び各事業概要と KPI の値について説明。)
委員	4. 検証 OP.63 について 安定した財源確保への取組 ふるさと納税の寄付者には礼状を送付しているということだが、寄付者をチャンスとして捉えているのか。前向きに捉えたと、別のカタログをお送りするなどさらに別の提案もできると思うが。
企画課長	寄付者には町の観光パンフ「益子回廊」を送付。
委員	できればイベントのパンフなども送付してほしい。また、寄付者へのアンケートには年齢も含まれているか。どのような内容か。集計して把握しているのか。どのような方が町に興味を持っているのか知るきっかけになり、移住につながるのではないか。町単独のアンケートを出してはいかがか。
企画課長	アンケート項目は、年代 動機、どこで知ったか、町へのメッセージ。ネット上でアンケートしている。礼状はふるさと納税システムの委託業者から出している。

委員	ふるさと納税のランキングを見ると北海道が上位を占めている。いちごは上に上がってくるかもしれないが、その他の商品は上位になる可能性があるのか。最初の画面にあるのが一番選びやすい心理。
総務部長	お金を出せば、バナーを貼ってくれる。現在は返礼品目的の寄付が多くなってしまっており、制度本来の目的とは違って不純な動機と言えなくもないが、魅力ある返礼品の開発も課題としておきたい。
委員	町内の業者に限ると魅力ある商品はなかなか難しい面もあると思う。
企画課長	いちごは目玉になるが、それ以外が弱いのが現状。道の駅をきっかけに新商品の開発もしていきたい。
委員	事業者が送る礼状に町からの依頼で何かあると印象が違うのではないか。手間もかからずに他の町と差をつけられるのでは。
総務部長	返礼品を送るときに事業者に何かところが温まるものを入れてもらうのもよいかもしれない。
委員	売却可能財産 14 件について公売は出ているが、公開されているのか。一般の人が買える物件なのか。隣の家しか使えないような土地だと買えない。
企画課長	実際には、よい物件はあまりない。近所の人しか使えないようなものもある。
委員	洗い出しは毎月やっているのか。今まではやっていなかったのか。
企画課長	毎月やっているわけではなく、順次公売の取り組みをしていく。今までもやっていなかったわけではないが、固定資産台帳を整備したこともあり、それと関連している。
委員	○P. 64 について 長期的視点に立った財政計画の策定 公共施設のヒアリングで収入よりコストがかかっているとのこと。収入を増やすか、コストを減らすかだが検討には入っているのか。
企画課長	今年、公共施設管理計画を策定中。建設、建替え時期を洗い出し、何年後にいくらかかるかを把握し、将来的な予算の使い方の計画を立て、平準化するか統廃合するかなどの指針を作成していく。
委員	町債額 72 億円は道の駅の関係か。

企画課長	道の駅は今年度の予算に入ってくるが、入れて 72 億円。
委員	公共施設のヒアリングは、各施設の担当者がヒアリングシートを出しているとする と、施設利用者の声は反映されているということか。
企画課長	利用者の声は調査しているわけではないが、担当課が把握しているものと考えてい る。
総務部長	管理計画は、まずは将来的な金額を把握することを目的にしている。その後、施設 ごとのカルテを作成し個別計画を立てる。もし、統廃合の方針になった場合は、利 用者の声を聞かなければならない。
委員	実質公債費比率 7.4%ということだが、平均はどのくらいか。
企画課長	平均 7～10 パーセントぐらいか。7.4%はよい値と考える。
委員	新未来計画最終年度時の実質公債費比率はどのくらいになると想定しているか。
企画課長	精査し、後日ご報告する。
委員	OP. 65 について 行政経営の効率化 外部評価はいつから導入するか。他でやっているところはあるのか。コンサルタン ト・監査法人など検査機関を入れるものか。
事務局	この外部検証委員会も外部評価に含まれているので全国すべてやっている。
企画課長	コンサルタント・監査法人の導入は、現在検討していない。
委員	具体的行動 4 では行政改革大綱の見直しとあるが、期限を決めないといつ新規事業 の必要な人員を確保できるかが決まらないのでは。
総務課長	人員の配置とは、人員を増やさない、削減をしていくという部分もある。採用人数 は退職者数の半数に抑え、地域おこし協力隊、嘱託・臨時職員を雇ってきた。その ような臨時的採用という状態からねん出した職員で新規事業をやっていききたいと いう考え。
委員	OP. 66 について 職員の人材育成 アンケート調査では「満足」「やや満足」24%の不満足の理由はアンケートに入っ ているのか。

事務局	調査項目は、窓口等の応接、説明の仕方、専門知識、協働姿勢について。
委員	アンケート項目を他市町とあわせることもできるのか。近隣と比較してみると参考になりそう。
総務課長	80%いってれば、良いほうではないか。税務や福祉など法にのっとった判断をしても、町民が願っていた結果が得られなかった場合は不満足という結果になる。
総務部長	他市町との比較は、無回答をどうとるかでも変わる。
委員	まちづくり学習会は、大変良いと思う。数回参加させていただいた。参加した職員からの成果に関する報告は受けているのか。良かった、悪かった、意識がどう変わったかなど、提出させると負担になるかもしれないが。住民と職員が同じ価値観で学習できるのはすばらしい場であると思う。
企画課長	自己研鑽の学習会として位置付けており、強制ではないので難しいが、年間通しては調べたいと思っている。
委員	OP 67 について 公共サービスの新しい担い手への支援 ファミリーサポートセンター利用者7名は大変少ないと思うが、他の市町と比較していかがか。地域性もあるとは思うが。
健康福祉課長	スタートして間もないので少ない。今のところ他市町の状況は把握していない。近くに親や親戚がいたりして少ないのかとみている。
委員	益子は若い移住者を増やそうとしている。移住者は親も親戚もいないので頼れない。利用者数が少ないのは、仕組みの周知がされていないのではないかと。子育てをしていると、2人の子どものうち1人を病院に連れて行くとき、もう1人もつれて行きたくないなどもある。そういった面を手厚くサポートすべきではないか。 また、健診は必ず来るので、そこでアピールしてほしい。冊子を渡すだけでは、子どもが泣いていたりしてみることもできない場合もある。ぜひ、冊子の中身を解説してほしい。
健康福祉課長	子育てハンドブックは、益子町ではこういった支援があるということをアピールしているものであるが、ご指摘のとおり周知方法を検討していきたい。
委員	町民団体、社会的企業の設立については資金が必要。町の補助金や支援制度などを知る機会はあるのか。もしかして、知らないから成長できないことなどはないか。
企画課長	町では現在、資金を補助している NPO 等はない。制度として、起業に関する補助は

	ある。
委員	高齢者支援について、サロンが増えているが団体にはそういうものも含まれているか。
高齢者支援課長	サロンは含まれていない。
委員	七井の団体が回答を見てもよくわからないが。実際にどのような団体か。
介護保険係長	超高齢化社会を迎える、その後の人口構成等から、地域のコミュニティの維持が図れなくなってくることが想定され、七井地区のコミュニティを再生したいという思いが七井地区の一部で盛り上がっている。この団体は、規約を定めており、事業に必要な収入を得るためのスキルアップの研修、地域にどのような人材がいるのかを発見すること、フェスティバルはお祭りのようなものだが、そのようなものがコミュニティを再生していく、その他この団体の活動の趣旨に沿ったことをやっていくというものとなっている。メンバーは自治会ではなく、七井地区全体の中から、団体の活動に必要とされる方をピックアップしており、11名ほどで組織されているが、随時声をかけているので、人数は動いている。団体の成立は自主的なもので、年齢層は70代から50代までとなっている。
委員	役場は高齢者支援課が支援しているのか。なぜ立ち上がったのか。山車か。
介護保険係長	高齢者の支援で関わる部分があったため、高齢者支援課が関わっているが、社会的企業の育成となるといくつかの課が関わってくるものだと思う。立ち上がりの理由は、山車のこともあるかと思うが、割合的にはそれだけでなく、色々な理由があると思う。
委員	<u>OP. 68 について 地域の「ちから」の結束への支援</u> 具体的に地域創生コンテストはどのようなものか。
総務課長	実施要領の案の段階ではあるが、自治会を超えた団体、有志の団体のなかで新たにこういう事業をすると地域がより良くなると考えてもらい、町の審査を経て資金を交付すると考えている。自治会単位ですでに補助金を出しているため、新しい取り組みを支援したいと考えている。
委員	七井のような例が出てくれば素晴らしい。しかし、現状は新しい取り組みをやるのは非常に良いが、やるまでがなかなか進まない。自治会長がやる気になっていてもやるまでの方法が難しい。その辺のノウハウもほしいし、フットワークを軽くしたい。

委員	例えば和太鼓の集まりや踊りの集まりは地域や年代を超えて集まっているのでは。実は地域創生をしているのではないか。芳賀の浪漫太鼓は、いろいろなオープンイベントはなど相当な活動をされているように感じる。そのように、把握していなくてもボランティア的な活動や地域密着の活動はたくさんあるのでは。
委員	高齢者支援課いきいきクラブの加入は窓口で配布しているのか。チャレンジクラブのチラシも一緒に配ったほうが良い。高齢者でも元気な方がたくさんいる。
高齢者支援課長	転入者と新たな国保加入者に向けて配るために作った。実際には 90 名しか配れていない。チャレンジクラブも載ってはいる。
委員	チラシの配布について、各課で共同すると良い。役場、公民館、保健センターに行くのは元気な方だけ。病院の窓口にも設置し、元気になったらやってみたいと感じてもらえるような仕組み、希望を持たせるような取り組みをしてほしい。冊子だとめくるのが大変で見ない方が多いが、チラシは有効。
事務局	5. 事務連絡 外部検証意見シートは、11 月 7 日の週に提出していただければと思う。問い合わせは、各課または企画課にメールでも可能。 6. 閉会

成果指標・重要業績評価指標 (KPI)

基本目標 地域資産を蓄積する

成果指標・KPI	基準値（現状値）		実績値						
	値	時点 （年度）	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020	
日本遺産登録	—	—	未申請						
ましこ検定の受検者数	—	—	未実施						
ましこ世間遺産認定数（累計）	—	—	未実施						
ランドスケープデザインの作成	—	—	未実施						
「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	74.1%	H26	73.5%						
地域ブランド調査魅力度市区町村ランキング	475位	H26	459位	377位					

基本目標 健全な経営体を持続する

成果指標・KPI	基準値（現状値）		実績値						
	値	時点 （年度）	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020	
プライマリーバランス	5億400万円 黒字	H26	7億3,215万円 黒字						
ふるさと納税額	161万円	H26	3,837.1万円						
財産収入	831万円	H26	484.4万円						
町税徴収率	87.95%	H26	87.83%						
町債額	70億3,555万円	H26	69億9,958万円						
指定管理者が運営する施設数	3施設	H26	3施設						
「職員に対する住民満足度」の割合	－	－	68.1%						
町民団体や社会的企業などの設立数	－	－	未実施						
地域創生活動コンテストへの参加団体数	－	－	未実施						

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成28年度 上半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	63	企画課	①売却可能財産の洗い出しを行っているが、物件はどのくらい(件数、金額)掘り起こしてきたのか。	①について 売却可能財産の洗い出しの結果、売却可能物件は14件、金額は不明。
2	63		②掘り起こした売却可能財産は、今後どのようなスケジュールで売却していくのか。	②④について 公売や隣接所有者への売却を視野に検討する。
3	63		③財務台帳による売却可能財産の調査はどの位の期間が必要か。 ④財務売却をどのように行うのか。 ⑤基金利子とは何のことか。また、この基金利子は収入にあたるのか。	③について 売却可能財産の調査については、平成29年3月を目処に行う。 ⑤について 基金利子とは、財政調整基金など町がもっている預金の預金利子です。財産運用収入に計上される。
4	63	企画課	①ふるさと納税額と財産収入額は今年度目標を達成できる見込みはできているのか。もし見込みがついていなければ、今後、達成するために何らかのテコ入れをするのか。	①について ふるさと納税については、下半期に集中することや、道の駅オープンによる返礼品の充実も検討しており、今年度目標は達成出来ると考える。財産収入についても、道の駅建物の賃借料が見込まれ、予算額は達成できる見込み。
5	63		②ふるさと納税に対してPRは非常に有効の事であり、陶器市で5名の職員がPRを行ったが、どのようなPR(パンフレット配布?)を行ったのか。また、効果の確認は難しいところだが、PR受けた方の反応はどうだったか。また、今後のPRの方法はどのように進めいくのか。 ③着実にふるさと納税が増えているが、今後魅力ある返礼品の開発・確保等をどのように進めていくのか。	②について PRはふるさと納税のパンフレット配布を行いました。来客の反応は概ね良好だった。また、東京の栃木県人会の総会に合わせパンフレットを送付。 ③について 地元の店舗を回り、魅力ある商品の掘り起こしを行っていく。
6	63		ふるさと納税者に対する町からの発信について、 ④礼状、イベントの案内、新しい納税パンフの送付、税の使用状況などを、どのようなタイミングで何を何度送っているのか。 ⑤納税者に対するアンケートは実施しているか。していない場合、実施の予定はあるか。	④について 礼状は入金確認後に送付し、寄付金の使用状況を年1回7月に送付している。 ⑤インターネット申込ページを使い簡単なアンケート(寄附の動機等)を実施中。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
7	63	税務課	①町税徴収率本年度目標88%について、現状達成できる見込みはついているのか。見込みがついているのであれば、その根拠は何か。見込みがついていなければ、今後、どのような対策を打つのか。	①②について 現年度滞納者(額)の減少が、滞納繰越者(額)の減少につながるの で、現年度滞納者に対しても差し押さえを前提とした文書催告書の発送 や年末や年度末には他課の管理職も含めて随時訪問を実施している。 また滞納整理・処分をするため、年間500件程度の財産調査や実態調 査を実施し、対象者には電話や文書での催告を随時実施している。そ れでも応じない滞納者には、戸別訪問を実施している。また、徴収率 は、固定資産税の大口(不良債権で1億円を超えている。)で徴収困難 な滞納があり、その処理が済むまでは、高い目標値は掲げられないが、 現在の徴収状況からすると本年度目標の達成が可能と考えられるが、 より一層滞納整理・処分を実施していく。
8	63		②町税率アップのため具体的にどのような対策を打っているのか。また、その効果は出ているのか。	③について 督促は、地方税を納期限までに完納しないときに行い、督促を要する地 方税の納期限の翌日から起算して20日以内に督促状を送達することに なっている(地方税法66条他)。督促状の発送は納税係6人で対応して おり、芳賀郡内町の対応職員は4人程度となっている。
9	63		③滞納者への督促対応は十分図られているのか。督促対応の人員は十分か。	④について 52.20%はH28年8月末日現在の徴収率。H28年9月末日現在の徴収 率は、56.41%なので、H27年度と比較してH28年度が0.46増加してい る。
10	63		④町税徴収率について、第2四半期の税徴収率はH27年度の徴収率55.95%を下回り52%となっているが、毎月の徴収率向上をどのように行うのか。 ⑤未申告者及び滞納者に対する戸別訪問を何件実施したか。(9月末現在の実施率は何%)	⑤について 毎年春季と秋季頃、未申告者に申告促す通知を送付しているが、未だ に申告されていない者と滞納者125件を対象に、今年度から戸別訪問 を実施している。実施期間はH28年10月から11月まで。10月27日現 在の戸別訪問実施件数は86件、実施率は68.8%。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
11	63	観光商工課	①ふるさと納税を獲得するためのパンフレット配布は十分か。目標はどこにしているのか。	①について 観光PRパンフレット配布時に合わせて配布しており、目標は設定していない。 ②⑥について 常時、企画課においてインターネット情報を活用し、情報の収集や比較をしている。また、町内商店等を巡り、魅力ある商品の掘り起こしをしている。 ③④について 具体的会議等の開催は予定していないが、魅力ある商品情報についての提供依頼を考えている。 ⑤について 本部テナントにおいて、手配りによる配布を実施した。
12	63		②ふるさと納税を獲得するために他の自治体の宣伝方法と比較したことはあるか。	
13	63		③「陶器市以外の配布の機会の確保と返礼品充実のため、商工会等との連携が必要」としているが、具体的に連携したのか。	
14	63		④ふるさと納税について、第一四半期の課題への方針・改善点に「商工会との連携が必要」とあるが、第二四半期に「商工会」とどのような活動を行ったのか。	
15	63		⑤陶器市会場でのパンフ配布の場所、手配りはしているか。 ⑥魅力的な返礼品を確保するためのリサーチや交渉を定期的に行っているか。	

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
16	64	企画課	①公共施設の状況を調査するために、ヒアリングシートを各課に配布し、データ集計を行っているが、どのような集計結果が出たか。	①について 各施設の過去3年間の財務情報(歳入・歳出)が明らかになり、ほとんどの建物について利用料などの歳入を大きく上回る維持費等のコストがかかっているという結果が出た。 また各施設の老朽化や不具合の状況についてヒアリングを実施した結果、不具合が生じている建物が多く見受けられた。 ②について スケジュールについては、平成28年度に3回(10月、12月、3月)、平成29年度に2回(5月、7月)を予定。目標として、複式簿記の必要性を理解し、仕分候補が複数ある予算科目を、適切に判断し、仕分処理ができるようにしたい。 ③について 町債残高については、平成28年度末:約72億円、平成29年度末:約69億円、平成30年度末:67億円、平成31年度末:約65億円を目標としており、町財政計画と行政改革大綱で整合が図られている。なお、臨時財政対策債は平成27年度末で、約41億円となっている。 また、健全な状態であるかについては、町が支出しなければならない経費の公債費等の割合を示す「実質公債費比率」での判断になるが、この比率は平成27年度決算において、7.4%であった。これは、国が定める早期健全化基準を大きく下回っており、健全な状態であると考えられる。 ④について 総合管理計画については28年中に作成を完了する予定である。 ⑤について 現行の総務省改訂モデルの貸借対照表については、本町の新公会計システムへの移行に関して委託業者において現在も(来年の6月を目途に)精査中。
17	64		②職員の経営感覚向上のため、職員向けに地方公会計の研修会を実施するようであるが、スケジュールと最終到達点はどのようになっているか。	
18	64		③町債額について、H31年度に65億円の目標を立てており、今年度末の町債額は行政改革大綱実施計画では72億円となっているがこれが健全な状態なのか。 ④公共施設総合管理計画について、現在、策定のための資料・データ等集めているが、いつまでに総合管理計画の作成を行うのか。 ⑤現行貸借対照表について、現行の貸借対照表の分析結果はどうだったか。	

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
19	65	総務課	①職員配置、事務分掌の見直しは具体的にどのようなことを実施したのか。また、今後どのようなことを実施する予定であるのか。	①について 毎年事務分掌を変えるようなことは業務にも住民サービスにも支障がでるため、事務分掌の見直しについては必要かどうかも含め、職員数の配置と合せ、各課長からの意見など聞いていきたい。
20	65		②職務分掌について、職務分掌の見直しはいつ実施するのか。 ③H29年度に向けて職員体制の整備を進めるとあるが、「職員体制の整備」とはどのような事を行うのか。 ④行政経営の効率化について、進捗状況50%の根拠は何か。	②について 今現在としては未定だが、職員の配置と合わせ必要に応じ実施したい。 ③について 職員の採用人数と配置について調整したい ④について 若手から中堅職員による業務改善や政策についての研究や、あしぎん総合研究所、全国市町村国際文化研究所、市町村職員中央研修所などでの職員研修の実施、人事評価についての外部講師を招いての研修の準備など、今年度実施予定事業などについては50%以上実施しているため。
21	65		⑤次年度に向けた職員体制の整備にあたって、各課の業務状況を教えてほしい。	⑤について 各課の業務の状況は、各担当毎の超過勤務時間の状況での把握となる。
再質問 (追加)	65		①の回答に対する再質問として、「毎年事務分掌を変えるようなことは業務にも住民サービスにも支障がでるため、事務分掌の見直しについては必要かどうかも含め、職員数の配置と合わせ、各課長からの意見などを聞いていきたい。」とあるが、 再質問①「支障がでるため」とは、時間的なものなのかそれともかえることにより住民サービスの低下等が発生するのか。 再質問②「事務分掌の見直しについては必要かどうかも含め」とあるが、シート2の中の方針・改善点で「④必要に応じ職員配置・事務分掌の見直し」とあり、整合しないのではないのか。 再質問③事務分掌は誰が作成するのか。	再質問①について 事務分掌は「組織及び機構」と関連する事項で、どこの課のどの係でどんな業務を担当するかの定めなので、ある業務について頻繁に担当課や係が変わったのでは住民も戸惑うと思われ、また行政側も業務の習熟には相応の時間も必要であり、引続き同じ部所が担当する場合に比べれば、住民サービスの低下に繋がる部分はあると考える。 再質問②について ①に関連するが、職員の増減など人的配置のみで対応できるものと、職員の再配置を含め事務分掌の見直し(業務の所属替えや課や係の組織替え)等の必要に応じた対応を取ることとするので、整合性は取れていると考える。 再質問③について 「組織及び機構の改善に関すること」や「事務事業の見直しに関すること」となるので、副町長及び課長で組織する行政事務合理化委員会で協議していくことになる。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
22	65	企画課	①「新未来計画の推進について、具体的行動の内容が不明確であったものについては、責任者の指導により具体化していく」となっているが、内容が不明確であったものは何か。	①について 暮らしP24「①産学官連携により、木質バイオマス活用の実現」に向けた取組について、H28下期から情報収集を行うこととしているが、具現化するには相当の期間及び費用を費やすことが想定されるため、詳細なスケジュール設定が必要となる。
23	65		②行政評価システムについて、行政評価システムの導入に関して各課及び職員の認識は統一されているか。また、行政評価新システムの導入に対して、新未来計画との整合性が図れないのか。計画書、点検、検証等々書式の統一を含め検討した方が良いのではないのか。	②について 新システムについては、導入時期を本年11月中を目途としている。事務事業の整理作業依頼等で概要については周知したが、操作説明会は未実施のため、説明会を通じさらなる認識統一に向けた周知を図りたい。 新システムにおける様式については、新未来計画との整合性をできるだけ図れるよう様式の調製を行った。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
24	66	総務課	①発想力提案向上研修を2回実施した中で、研修参加(実施)により来年度予算に反映できるような提案はあったのか。	①について 行政事務合理化委員会の中で、来年度予算に反映させるべき提案の有無は判断していきたい。
25	66		②職員に対する満足度について、今回、職員に対する住民満足度アンケートを実施したとの事、貴重なデータであり、満足でない人23.9%の理由等を分析し、満足度を上げる為の施策はどのように行うのか。 ③PTIによる業務改善について、PTとは何か。 ④人事考課について、自己評価をどのように実施するのか。 ⑤研究会について、2回研修を実施したが職員の意識は変わってきているのか。	②について 窓口対応への不満については、定期的に接遇研修などを実施していきたい。説明の仕方や専門知識の不足などへの不満については各課毎の職場内トレーニングを進めたい。 ③について 若手から中堅の職員からなるプロジェクトチームこと。 ④について 人事評価については評価者は課長以上になるが、各個人が立てた目標に対する自己評価としての達成度と評価者から見た達成度の両方を実施している。 ⑤について これからの判断になると考えるが、見逃しがちな問題の本質などへの気づきは出て来ていると考える。
26	66		まちづくり学習会は、とても魅力的な学習会で、職員、住民双方が参加することにより、共通の課題、問題認識が得られる貴重な機会と感じている。 ⑥職員の参加数が回数を重ねる毎に減っているが理由はあるか。	⑥について 理由としては業務の都合によるものが多いと思われます。職員個々人の研鑽を図るための学習会であり、協働によるまちづくりを進めていくヒントを得る貴重な機会であると考えております。今後も、職員の積極的な参加者について働きかけを行います。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
27	67	企画課	①町民団体や社会的企業について、四半期以降の課題方針・改善点に記載されているように、現在活動中の民間団体(ボランティア団体)の調査を行う事がはじめと考えます。	①について ご指摘のとおりであり、現在庁内においてその把握に努めている。
28	67	健康福祉課	ファミリーサポートセンターについて、現在、提供者7人、利用者7人等少ないようですが、子育て支援は大切なことであり地域で支えていく必要があると思います。 ①次期四半期以降の課題への方針・改善点に記載されているように、資料配布等を行うとともに、現在の利用者を通じ、利用者の友人等への紹介を依頼したらどうか。	①について 資料配付は行う。利用者を通じたPRについては今後行っていきたい。 ②について 広報には年に1回掲載している。今年度は第4四半期に掲載予定。子育て支援施設についてはパンフレットを希望冊数配布予定。
29	67		②ファミサポの周知に関して広報掲載、子育て施設での資料配布となっているが、回数や時期、どのような方法で配布しているのか。 ③ファミサポの存在を、乳幼児健診時に直接PRしているか。 ④子育て支援ガイドブック掲載のほか、詳しい内容の単独チラシを作っているか。 ⑤サポート内容の問題や見直しを実施しているか。	③について 面接をしたとき、必要性があると思われる方については制度の紹介をしている。 ④について 詳しい内容の単独パンフレットを作成している。 ⑤について 利用希望者からサポート内容についての問い合わせを受ける事があるが、希望者が求める内容は現在のところ満たしている。問題は、急な要望に対してはサポートが出来ないこと。
33	67		⑥「子育て支援ガイドブック」の配布先に、病院・クリニック等民間事業所は検討できないか。	⑥について 最も必要と思われる小学2年生未満の児童がいる世帯については、学校や保育園・認定こども園(既に配布済み)、役場窓口等を通じ全戸配布を目指している。このため数に限りもあるので要望があった事業所について配布したいと思います。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
30	67	高齢者支援課	①七井の団体とは、具体的にどのような団体か。	①②について この団体は、少子高齢化などの様々な状況による地域の活力低下の現状を直視し、住民が活性化のための知恵を出し合い、住みやすい地域づくりに寄与することを目的としており、この目的に賛同する者で組織するもの。 この目的を達成するために、(1)スキルアップの研修等 (2)地域再発見 (3)七井フェスティバル (4)その他、本会の目的達成に必要なことを行うとしている。
31	67		②高齢支援について、実施内容に記載されている会はどのような会か。	ただ、今の方向性としては、地域コミュニティの復活のために、七井地区の祇園祭に合わせて、会として何が出来るのかを模索している状況。今後は、祇園祭の実行委員会との連携を図っていくというのが、現時点での方向性となっている。
32	67	観光商工課	①公共サービスの新しい担い手について、益子町では多くのボランティア団体等あり、P67企画【公共サービス】でも記載したように、団体の把握を行うことも一つの手立てではないか。	①について ご指摘のとおりであり、現在庁内においてその把握に努めている。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
34	68	総務課	①各自治会の活動状況は把握しているのか。	①について 自治会活動を支援するための補助金を交付しており、申請に伴う一部の活動については把握している。
35	68		②各地域の自治会加入者数、非加入者数の割合は把握しているか。 ③非加入者の割合が高い地区はどこか。	②について 人数は把握していないが、加入世帯数は把握している。 ③について 七井中央付近など、アパートなどが多い地区は加入率が低い傾向にあると考えている。
36	68	総務課	①地域創生コンテストについて、一般的に言って、各自治会・役員の温度差もあり、新しい町の取組にはなかなか協力(実施)していただけない自治会が多いと思う。だから何もしないでいいということではなく、いかに説得し、実のあるコンテストにするかだと考える。具体的な周知・協力依頼方法はあるのか(担当職員が広報配布時に自治会長へ積極的に協力を要請する等のアプローチ等も考えられる)。	①について 1月の自治会長会議に説明できるよう、各団体が参加しやすいような要綱を作っていきたい。
37	68		②地域活性化センター、地域創生コンテストについて、計画シートでは内容がわからないので、現段階で話し合われている具体的な内容を示してもらいたい。	②について 活性化センターについては「地域活動支援センター」の誤りで、未来計画P21「住みたい・住み続けたい環境の充実」での対応となります。創生コンテストについては、未来計画にある「地域の活性化や問題解決の事例紹介」のコンテストでは参加が難しいと考えるので、各種団体から地域の活性化や問題解決のアイディアを出してもらい、その内容のコンテストにした方がいいかなど、要綱を作成中である。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
38	68	高齢者支援課	①各地域のいきいきクラブの活動状況は把握しているのか。	①について いきいきクラブへの補助事業の実績報告で活動状況は把握している。 ②について 加入状況についてはいきいきクラブへの補助事業の交付申請時に会員名簿を添付してもらっている。未加入の理由についてはすべては把握していないが、一部意見は把握している。 ③について 「ましこチャレンジクラブ」のチラシの配布については生涯学習課を通し、今後配布予定。 ④について 福祉まつり及び健康まつりで配布予定。また、役場、中央公民館、改善センター、あぐり館で今後配布予定。
39	68		②いきいきクラブへの加入状況は把握しているのか。未加入者について、未加入の理由を把握しているのか。	
40	68		③いきいきクラブの強化について、高齢者支援課では高齢者の支援と言うことで、「生き生き活動支援ガイドブック」の配布や「いきいきクラブ」等の勧誘チラシ等を配布しているとの事は大変良いことと考える。さらに今後は元気な高齢者もいるので、「健康・長寿ましこづくりの推進」にあるように「ましこチャレンジクラブ」の入会等のチラシも配布したら良いのではないのか。	
41	68		④いきいきクラブの強化について、ガイドブックの役場窓口配布はすでに実施されているようだが、高齢者が集いやすい場所で配布はしているか。福祉祭りや健康まつり、病院の待合室などでの配布は実施されているか。	

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
42	68	生涯学習課	①懇談会で出た地域の課題にはどのようなことがあったか。	①について 懇談会での地域の課題について、主なものは以下のとおり。 ・通学路の安全について ・スクールガードへの協力者が少ない ・スマートフォン等情報モラルについて ・水難事故防止について ・学校へのエアコン要望について ・中学生徒減による部活動の廃部について ・全国体力テスト(中学校)の結果、成績がよくない。
43	68	生涯学習課	①花いっぱい運動について、各自治会で実施の「花いっぱい」運動は町がきれいになり・明るくなるとともに、地域の絆が生まれております。今後とも継続していただきたい。	①について 継続していきたいと考えている。